

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年
2月号
Vol.70 No.813

巻頭言

節分に想う 関 真一

お知らせ

2022年度第12地区研修会

2022年度第5地区研修会

2022年度第9地区研修会

JART会費未納除籍者への債権回収委託

叙 勲

瑞宝単光章

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査

第11回 注腸X線検査における臨床画像症例～狭小化・狭窄を伴う大腸進行癌(SS症例)～ 安藤健一

研修会等申込書

登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 節分に想う	3
会告1 2022年度多摩支部研修会	4
会告2 2022年度第1回災害対策研修会	5
会告3 2022年度城南支部研修会	6
会告4 2022年度第2回災害対策研修会	7
会告5 第75回定期総会での表彰(勤続20年)について	8
お知らせ1 2022年度第12地区研修会	9
お知らせ2 2022年度第5地区研修会	10
お知らせ3 2022年度第9地区研修会	11
お知らせ4 2022年度第11地区研修会	12
お知らせ5 2022年度第6地区研修会	13
お知らせ6 JARTにおいて会費未納除籍者に債権回収委託を開始	14
お知らせ7 東放技会員所属地区のご案内	15
叙 勳 瑞宝単光章	16
連 載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第11回 注腸X線検査における臨床画像症例	
～狭小化・狭窄を伴う大腸進行癌(SS症例)～	18
こ え	
・2022年度城北支部研修会(ハイブリッド開催)に参加して	25
・2022年度城北支部研修会に参加して	26
・城北支部研修会に参加して	27
2022年4月～12月期会員動向	28
2022年度第9回理事会報告	29
研修会等申込書	34
登録事項変更届	35
———— Column & Information ————	
・学術講演会・研修会等の開催予定	28
・東放見聞録	32

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



節分に想う

副会長 関 真一

会員の皆さんには本会に対してご協力ご支援を頂き厚く感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、日々懸命に診療している皆さんに心より感謝を申し上げます。

年が明けて早いもので節分・立春の季節です。現在では豆まきと恵方巻が知られていますが、改めて調べてみました。節分とは、「季節を分ける」という意味です。各季節の始まりの日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日のことをいいます。季節の変わり目には、邪気が入り込むと昔の人は考えたため、それを追い払う行事を行いました。昔の日本では、春は一年の始まりとされ、特に大切にされました。江戸時代以降は、節分といえば、特に立春の前日を指すようになり、旧暦では、立春が新年の初めの日、その前日は今でいう大晦日に当たります。一年の最後の日に、邪気を追い払い、良い新年を迎えるための準備の日という意味がありました。では、「節分はいつ？」に対する答えを、2月3日と答える人がいるかもしれません。確かに、ここ10年以上、ずっと2月3日でしたが、年によれば2月2日になったり2月4日になったりすることもあります。つまり、旧暦は天文学上のもので、地球の公転周期とのずれが節分などの旧暦の暦が年によってずれる理由です。毎年少しづつずれています。節分＝2月3日に固定されているわけではないということは覚えておいてください。昔の人は、季節の変わり目には邪気が生じると考えていましたため、季節の変わり目＝節分に邪気を追い払う悪魔祓いの行事を行いました。節分の鬼とは、その邪気のことです。つまり、形の見えない災害、病、飢饉など、人間の想像を超えた恐ろしい出来事はすべて鬼の仕業だと考えていました。そのように「目には見えない、この世のものでない」という意味の「隠(おぬ)」が転じて、「おに」になったようです。昔の人にとって、自分たちでコントロールできないものは本当に恐ろしかったのでしょう。節分の豆まきといえば、「福は内、鬼は外」と言いながら、豆をまくのが一般的だと思ってらっしゃるかもしれません、各地によってバリエーションがあります。鬼子母神を祀っている真源寺では、「福は内、悪魔外」と言います。奈良県吉野町の金峯山寺では、役行者が鬼を改心させて弟子にしたので、「福は内、鬼も内」と言うそうです。

本会では第7回理事会から2か月間適正な会費額を検討しておりました。第9回理事会において、「会費に関する規程」の改正について承認され、組織率の向上を目標に2年間の会費額の減額の決議を行いました。コロナ禍の状況もあり、今後も会議・研修会・講習会をWeb方式へと移行し、交通費等の支出低減により貯えると想定しております。また、魅力ある技師会、役に立つ研修会へと変革していく、会員増へと役員一丸となって目標達成を目指す所存でございます。新入会員については、会費という入会に対する障壁をなくし、入会しやすい経済状況を確保するものと致しました。60歳以上の会員については、定年を機に一定数の方が退会する傾向を改善し、少しでも永く会員を維持していただき、後輩の指導をいただきたいとの思いがございます。

来る2月23日には第74回臨時総会を開催し代議員の皆さんにご審議いただき、2023年度からの実施を目指しております。今後も会員諸氏のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会 告

1

2022年度 多摩支部研修会 (Web開催)

テーマ「臨床工学技士に聞く 救急医療で使う機器の役割」

講師：東大和病院 臨床工学科 大野 慶伍 氏

「診断の前にバルパンいれるよー！ ショックになるかもしれないからDCの準備とPCPSもすぐ組めるようにしておいて！」 「コンプリートだからすぐテンポラリーいれるよ！」

皆さん聞いたことはありませんか？ 医師と臨床工学技士との会話の中で、よく耳にする医療機器名。あれのことかな～？ なーんて、なんとなくは分かっているけど、ちゃんとは分かっていない。そんなお悩み、解決できるかもしれません。

今回は医療機器を取り扱うプロである臨床工学技士の方に、放射線部門で役立つ救急医療機器を中心に分かりやすくお話ししていただきます！

新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年3月10日（金）19時00分～20時00分

開催方法：Web配信

定 員：50名（先着順）

※参加者には後日、専用URLをメールで配信致します。

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：多摩支部理事 鮎川幸司 E-Mail：shibu_tama@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2022年度 第1回災害対策研修会 <Web開催> テーマ「災害時の放射線部門対応 ~経験から備えへ~」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

東日本大震災から11年が経ちました。発災後に多くの施設で災害対策の見直しや整備を行ったことと思います。その後も継続して訓練や見直しを行っていますでしょうか。災害時医療を他人事と考えていませんか？

今回の研修会では、「BCP」「訓練」「実際の被災地域での対応」などについて災害医療分野の第一線で活躍されている先生方にお集まりいただきご講演いただけることになりました。災害対策にご興味のある方は必見です。また、災害支援認定診療放射線技師の現状についてもご紹介致します。

皆さまの施設の災害対策に対する日頃の備えを見直すきっかけになれば幸いです。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

内 容

放射線部門のBCP

熊本大学病院 池田 龍二 先生

放射線部門の災害訓練

兵庫県災害医療センター 中田 正明 先生

地震発生時の対応

国立病院機構宮城病院 立石 敏樹 先生

災害支援認定診療放射線技師について

公益社団法人日本診療放射線技師会 江藤 芳浩 先生

記

日 時：2023年3月4日（土）13時00分～17時00分（オンラインによるライブ配信）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.0カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

3

2022年度 城南支部研修会 (Web開催) テーマ「Ai (死亡時画像診断) の現状と今後の展望」

講師：国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科 樋口 清孝 氏
Ai情報センター 代表理事 山本 正二 氏

“Ai”という言葉を聞くと最近は「人工知能：AI」を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。2011年にドラマでAutopsy Imagingが取り上げられた当初は、診療放射線技師の間で話題となり“Ai”と言えば「死亡時画像診断」でした。

あれから10年、私たちを取り巻く環境は刻々と変化し、「人工知能：AI」ではブレイクスルーが起こり、今や画像診断のみならずビジネスや生活のいたるところに導入され、社会システムの一部として機能し始めています。

また、「死亡時画像診断：Ai」でも多くの方々の努力により当時の問題点が改善され、“Ai”を取り巻く環境が大きく変化してきています。進化したAutopsy Imagingの現状と適正な撮影条件や症例の解説を経験豊富な講師をお招きし、技師目線と読影医目線からご講義いただきます。

今回は3年前に直前で開催中止となった研修会の温め企画となります。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年3月10日（金）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

定 員：100名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

問い合わせ：城南支部委員会 E-Mail : shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長 原子 満（城南支部委員長）

第4地区委員長 上田万珠代

第8地区委員長 大津 元春

第11地区委員長 名古 安伸

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

会 告 4

2022年度 第2回災害対策研修会

テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させないために～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会
講師：SR推進委員

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、また、サーベイヤーの育成を継続するため本年度も研修会を企画しました。

本年度はクイックサーベイ実習を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては研修会開催を中止する場合があります。
(参加応募者には開催1週間前を目途に開催の可否についてご連絡致します)

プログラム

～3.11の経験とその後の対応を踏まえて～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. クイックサーベイ（概論）
3. クイックサーベイ（実習）

記

日 時：2023年3月18日（土）13時00分～16時30分（受付開始：12時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：20名（先着順）
受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与
問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

5

第75回定期総会での表彰（勤続20年）について

渉外委員会

本会は2023年6月に行われる、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会において、本会表彰規程により労働精励賞の表彰を行います。

本年度資格到達者は本会で調査し、対象になっている会員の方にすでに案内を発送しております。調査漏れが生じることもありますので、下記に該当される方で、未だ本会より連絡のない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが2023年2月28日までに下記問い合わせ先までご連絡くだされば幸甚に存じます。

規定内容要旨：

- (1) 今回の該当者は2003年3月31日までに、診療放射線技師の免許を取得し、技師業務に20年以上従事した方が対象である。
- (2) 2009年3月31日以前に入会し、引き続き本会会員であって、会費を完納していること（15年以上継続会員）。
- (3) 現在正会員であり、引き続き2023年度も会員であること。

問い合わせ：渉外委員長 高野修彰 E-Mail : shougai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

2022年度 第12地区研修会（Web開催）

テーマ「理学療法士に聞く リハビリと画像診断の関わり」
～脳卒中患者を中心に～

講 師：公立昭和病院 リハビリテーション科 理学療法士 山下 祥紀 氏

日々の業務でわれわれが撮影している画像は、さまざまな医療現場で活躍していることは知っていますか？ その中で、患者さんが自立した日常生活に復帰するための治療を、医学的に支援する理学療法士の現場に注目しました。

医学リハビリテーションにとって画像はなくてはならないものであり、治療や支援を行っていく上で画像は必須といわれるくらい重要な要素となっています。われわれが働く現場の身近なところで、実は知らずに役立っていると新たな発見があるかもしれません。

急性期から退院までリハビリテーションのプロに、脳卒中患者を中心とした理学療法と画像の関わりについて分かりやすくお話ししていただきます！

新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年2月17日（金）19時00分～20時00分

開催方法：Web配信（Microsoft Teams）

定 員：50名（事前予約制先着順）

※参加者には後日専用URLをメールで配信致します。

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：area12@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

2

2022年度 第5地区研修会（Web開催）

テーマ「放射線治療 最前線（概論）
～放射線科治療医が“ガンガン”教えます～」

講 師：東京大学医学部附属病院 山下 英臣 先生

放射線治療の分野は、近年めまぐるしい進歩を遂げています。以前よりも病変部に集中的に放射線を照射して副作用を少なくし、より効果的な高精度治療が可能になりました。IMRT（強度変調放射線治療）やSBRT（体幹部定位放射線治療）など、最先端の技術を用いた放射線治療方法も増えています。

治療装置には画像取得用のX線撮影装置が搭載され、画像誘導放射線治療（Image-Guided Radiation Therapy : IGRT）が行われるようになり、従来の放射線治療に比べ、がん病巣に対して正確な照射が可能となっております。最近では、光学式カメラシステムを使用した体表面イメージガイド放射線治療（Surface image-Guided Radiation Therapy : SIGRT）も広がりつつあります。

そこで第5地区では、東京大学医学部附属病院 放射線治療医 山下英臣先生を講師にお迎えし、最前線の放射線治療（概論）についてお話しitただく企画をしました。

本研修会は、放射線治療に携わっている方のみならず、近年の放射線治療分野を学ぶことのできる講演内容です。皆さまのご参加をお待ちしております。

※参加人数に上限がありますので、お早めにお申し込みください。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年2月22日（水）19時00分～20時00分

受 講 料：無 料

定 員：70名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年2月15日（水）

問い合わせ：第5地区委員長 中田健太 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2022年度 第9地区研修会 (Web開催)

テーマ「新人教育のあれこれ」 ～大事な初めの一歩 病院ごとの方針と成果～

講 師：東京都健康長寿医療センター	石田 奨 氏
日本大学医学部附属板橋病院	照屋 寛人 氏
帝京大学医学部附属病院	四釜 静帆 氏
精神医学研究所附属東京武蔵野病院	飯塚 雅子 氏

本年度の第9地区研修会は新人教育の目的と重要性について考えます。今回は4施設の先生方をお招きし、施設の方針や教育の心得・コツまたは失敗例など多角的な視点で講演していただきます。年度末総括の時期での開催、多くの皆さまと情報・意見交換し次年度へ生かしたいと思います。

なお、今回はZoomによるオンライン開催となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で順次通常のセミナーを再開してまいります。それまで今しばらくお待ち下さい。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年2月28日（火）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

定 員：60名 （定員になり次第、終了させていただきます）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

申込締切日：2023年2月25日（土）（定員になり次第締め切り）

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

4

2022年度 第11地区研修会（Web開催）

テーマ「多軸型ロボットCアームを搭載した最新Hybrid ORの動向」

講 師：杏林大学医学部付属病院 高久 啓志 氏
シーメンスヘルスケア株式会社 富士渕俊之 氏

血管撮影装置は、血管走行の診断からIVRなどの治療まで利用される、重要な装置にまで進化してきています。近年は、装置のCアームスタンドの各関節部に回転駆動機構を搭載した、多軸方式の血管撮影装置が使用されはじめています。

そこで、本研修会では装置の概要と、多軸方式による柔軟なCアームの動きや新しいイメージング環境を、実際に使用されている施設の方とベンダーの方からお話ししていただくこととなりました。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年3月8日（水）19時00分～20時30分

定 員：50名（先着順）

開催方法：Web開催（Zoom）

受講料：無料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第11地区委員長 名古安伸 E-Mail：area11@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2022年度 第6地区研修会（ハイブリッド開催） テーマ「肝エラストグラフィーについて」

本年度の第6地区研修会はハイブリッド（会場、Web）にて『肝エラストグラフィー』をテーマに開催致します。

2022年の診療報酬改定により「肝MRエラストグラフィー」に加算がつくことになりました。研修会では超音波エラストグラフィー、肝MRIエラストグラフィーの基礎についてご講演いただきます。

この機会に肝エラストグラフィーについて一緒に学んでみませんか。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

～ プログラム～

「肝エラストグラフィー 超音波編」

東京臨海病院 技師長 藤井 雅代

「肝エラストグラフィー MRI編」

東京都立大学大学院 准教授 畑 純一

記

- 日 時：2023年3月9日（木）19時00分～20時30分（受付開始：18時45分～）
会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）
（IDおよびパスワードは追ってご連絡致します）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：会場 20名、Web参加 60名
受 講 料：無 料
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。
問い合わせ：第6地区委員長 伊佐理嘉 E-Mail：area06@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

6

JARTにおいて会費未納除籍者に 債権回収委託を開始

日本診療放射線技師会（JART）の理事会において、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、日本診療放射線技師会会費については、2022年4月1日付で会費未納による除籍者より債権の回収委託を開始しています。

JARTでは、定款第8条で「会員は（中略）会費を納入しなければならない」と定めており、同じく第9条3項では「2年以上の会費未納入の場合には会員資格の喪失」と記載されております。また入退会等に関する規程第2章第2条、会費納入規程第2章第2条、第3条および第3条2項によって会員は会費の納入義務を負っております。これまでには、再入会申し込みの際に、これらの規程についてご理解を頂くまでに労力を費やしていましたが、今後は明確化できるものと考えております。

また、東京都診療放射線技師会の会費につきましても、合算請求のため未納会費を回収委託する対応にしております。会員の皆さんにおかれましては、ご理解ご協力よろしくお願い致します。

お問い合わせ：公益社団法人日本診療放射線技師会 財務担当

E-Mail : info@jart.or.jp

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区的表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。

The screenshot shows the homepage of the TART website. At the top, there is a navigation bar with links for '一般の方へ', '当会の概要', '入会案内・各種手続き', '研修会・イベント情報', '求人情報', and 'お問い合わせ'. Below the navigation bar is a banner image showing hands performing a medical procedure. Underneath the banner, there is a breadcrumb trail: 'HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表'. The main content area is titled '支部・地区一覧表' (List of Branches and Regions). It contains a text block stating that the society is divided into 16 regions across Tokyo, Kanagawa, Chiba, and Saitama Prefectures. Below this is a table with three rows:

城東支部	第1地区	千代田区
	第2地区	中央区、台東区
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区

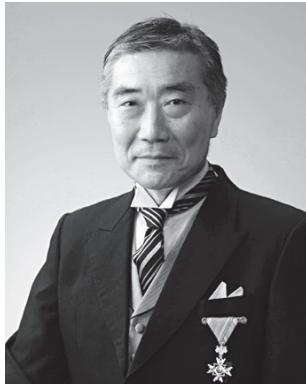
To the right of the table, there are three '地区紹介' (Region Introduction) buttons, each with a small icon. A large grey arrow points from the question 'あなたはご自分の所属地区をご存じですか？' up to the screenshot. A second grey arrow points from the '地区紹介PDF' button at the bottom right up towards the '地区紹介' buttons in the list.

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区的特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

叙勲 瑞宝单光章 受章



元 国立大学法人東京大学医学部附属病院放射線部 技師長
現 公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院放射線室 参与

しらき たかし
白木 尚

昭和34年12月29日生（63歳）

経歴

昭和56年 4月	東京電子専門学校 診療放射線学科	入学
昭和60年 3月	同	卒業
平成10年 9月	放送大学 教養学部 自然の理解	入学
平成13年 2月	大学評価 学位授与機構	保健衛生学士取得
平成13年 3月	放送大学 教養学部 自然の理解	退学
平成13年 4月	放送大学 教養学部 生活と福祉専攻	3年次編入学
平成15年 3月	同	卒業

職歴

昭和60年 4月	東京大学医学部附属病院分院	入職
昭和61年 3月	同	退職
昭和61年 4月	東京大学医学部附属病院	入職
令和2年 3月	同	定年退職
令和2年 4月	公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院	入職
	現在に至る	

団体歴

昭和63年 4月～平成11年 3月	社団法人東京都放射線技師会 第5地区委員
平成10年 4月～平成19年 3月	全国国立大学放射線技師会 常務理事
平成11年 4月～平成13年 3月	社団法人東京都放射線技師会 第5地区理事
平成13年 4月～平成15年 3月	社団法人東京都放射線技師会 学術部理事
平成15年 4月～平成24年 3月	社団法人東京都放射線技師会 第5地区委員
平成21年 4月～平成24年 4月	公益社団法人日本放射線技術学会総会学術大会 (JRC2011) 実行委員
平成21年 4月～平成30年 4月	放射線同友会 世話人
平成22年 4月～平成30年 3月	全国国立大学放射線技師会 常務理事
平成24年 4月～令和4年 6月	公益社団法人東京都診療放射線技師会 副会長
平成29年 4月～令和元年 6月	2019年度関東甲信越診療放射線技師会学術大会 実行委員長
平成30年 4月～令和2年 3月	全国国立大学放射線技師会 副会長
平成30年 4月～令和4年 6月	放射線同友会 会長
平成30年 4月～現在に至る	一般社団法人放射線医療技術・国際連携協会 理事
令和2年 6月～令和4年 3月	日本診療放射線技師連盟 副理事長
令和4年 6月～現在に至る	公益社団法人東京都診療放射線技師会 監事

賞罰歴

平成17年 5月	公益社団法人東京都診療放射線技師会	20年永年勤続表彰
平成18年 5月	公益社団法人東京都診療放射線技師会	小野賞
平成19年 4月	社団法人日本放射線技術学会第63回総会学術大会	学術展示賞銀賞
平成27年11月	公益社団法人日本診療放射線技師会	30年永年勤続表彰
平成29年 9月	公益社団法人日本診療放射線技師会	江間賞
令和2年 3月	東京大学医学部附属病院	感謝状
令和2年 4月	全国国立大学放射線技師会	功労賞
令和2年 4月	東京大学医学部附属病院放射線技師会	感謝状
令和2年 6月	公益社団法人日本診療放射線技師会	功労賞
令和2年 6月	東京都知事	感謝状
令和4年11月	秋の叙勲内閣府（文部科学省）	瑞宝単光章

令和4年秋の叙勲 瑞宝単光章を受章して

白木 尚

このたび、国立大学法人東京大学医学部附属病院の推薦により、令和4年秋の叙勲において瑞宝単光章を受章しました。受章に際し、内閣府賞勲局より10月下旬の閣議において決定後、関係省庁から連絡がある旨の知らせがあり、文部科学省大臣官房人事課栄典班より11月3日付をもって授与されるとの通知が届きました。功労概要は保健衛生功労で主要経歴は東京大学医学部附属病院元診療放射線技師長と記載がありました。本来は当日に勲章伝達式および皇居における拝謁が実施されるそうですが、新型コロナウィルスの感染状況により中止となり、後日小規模な単位で特別に、「宮殿内見学と集合での記念撮影」を予定していただいているそうです。

私は、昭和60年に診療放射線技師免許を取得し、同年東京大学医学部附属病院分院に非常勤職員で入職しました。そして翌年、東京大学医学部附属病院に常勤職員で採用され、令和2年3月31日の定年まで、関わったあつた皆さまの公私にわたる温かいご指導ご支援のおかげで、勤め上げることができました。34年間とても充実した日々を過ごすことができました。定年後の令和2年4月1日から練馬光が丘病院に入職し、令和4年10月に開院した放射線治療診療の立ち上げ、および放射線室スタッフ育成のサポートなどの業務をしながら放射線取扱主任者として勤務しております。

東京都放射線技師会へは附属病院に入職した翌年の昭和62年に入会し、その翌年、地区委員として技師会活動に参加することになりました。その後、地区理事、学術理事、副会長を経て現在は監事を務めています。技師会で出会った方々に育てていただきなければ、叙勲推薦要件の技師長に昇格できることはなかったと思います。東京都診療放射線技師会に感謝です。

今後は後進のため職種のために、微力を尽くす所存でございます。

最後に、公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念し、受章の報告に代えさせていただきます。



白木尚監事の瑞宝単光章の祝辞

会長 江田哲男

このたび本会監事の白木尚様が、ご勤務されていた東京大学医学部附属病院からのご推薦により、令和4年秋の叙勲「瑞宝単光章」を受章されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。

白木監事は平成11年に第5地区理事に就任し、平成13年から1期2年間学術担当理事を歴任され、本会の学術教育にご尽力いただきました。その後、平成24年に本会副会長に就任され、令和元年には東京都で開催された関東甲信越学術大会の大会実行委員長として「つながる医療 つなげる和」をテーマに、「One for all, All for one」の精神で、大会実行委員を1つにまとめ大会を成功裏に導き本会でも大変ご活躍されました。また、ご推薦のあった東京大学医学部附属病院では放射線治療を専門として、多くの患者様に対し安全安心な治療を実施し、放射線業務全般の医療安全等においてもご尽力されています。

このたびの白木監事の受章は、診療放射線技師としてのご活躍が国民に対し大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も白木監事の益々のご健勝をお祈りするとともに、本会への更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第11回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～狭小化・狭窄を伴う大腸進行癌(SS症例)～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

新シリーズとして『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

おさらい

前回より症例シリーズを開始させていただき、腸管の狭小化・狭窄を伴わない、進行癌症例の提示・病変描出方法についてお話しさせていただきました。進行癌といえども、狭小化・狭窄を伴わない病変は、背臥位・腹臥位の両体位での撮影にて、病変の局在（背側・腹側）を明らかにしたうえで、至適体位にて圧迫や漂流撮影を駆使して、詳細な病変形態と性状、深達度診断が可能な精度の高い画像情報を提供する必要があります。今回は、腸管の狭小化・狭窄を伴う進行癌について症例提示させていただきます。

1 正面像と側面像

図1～図18に直腸から盲腸まで大腸全領域の背側・腹側の二重造影で撮影された画像を提示します。画像評価達成基準を意識し、全領域を背側・

腹側の二重造影でしっかりと撮影されております。図4・図5のS状結腸に、はじき像を認め腫瘍性病変が強く疑われます。

その他は、上行結腸・盲腸に憩室が散見されます。

S状結腸に存在するはじき像の病変性状について、図19～図25の画像で詳細にみていきます。図19～図22の背臥位ほぼ正面（微調整された体位）にて、病変の正面像が撮影されています。圧迫筒による圧迫で腸管をより平坦化し、バリウムの厚みを微調整して漂流撮影にて、病変の表面性状を詳細に観察することができます。形状は類円形。はじき像の辺縁はやや結節状で境界明瞭の周堤様、内面にはたまり像を認めます。大きさは1椎体超で約30mm。図23～図25の画像で病変の側面像が得られており、台形状変形と判断します。病変の正面像から感じる厚みと合わせて、深達度は漿膜下層（SS）に達すると考えられます。結果は図26に示す通り、大きさ32×32mm・深達度SSの2型の進行癌でした。

この症例のポイントは、正面像と側面像の撮影です。病変の解剖学的局在により、必ずしも正確な正面像と側面像が得られるわけではありませんが、可能な限り詳細な正面像と側面像を得ることは、正確な質的量的診断に重要となります。

図27は、深達度診断における側面変形についてのシェーマです。それぞれの側面変形様式によりおよその浸潤深達度を推定することができます。
 ①無変形は粘膜層～、②角状変形は粘膜下層～、
 ③弧状変形は粘膜下層以深～、④台形状変形は固有筋層～漿膜下層とされております。



図1



図2



図3



図4



図5



図6



図7



図8



図9



図10



図11



図12



図13

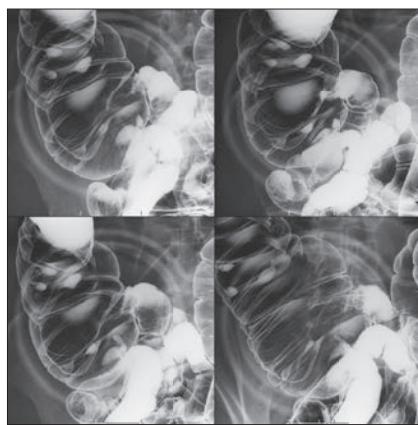


図14

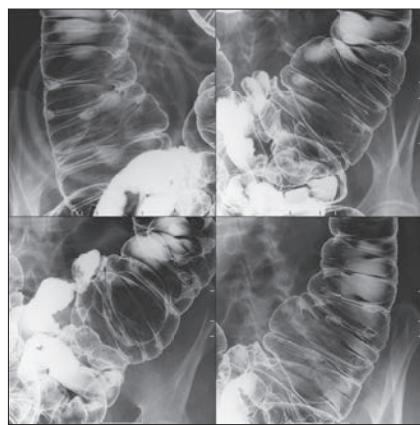


図15



図16

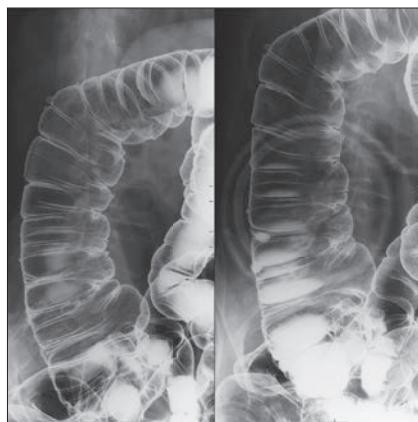


図17



図18



図19

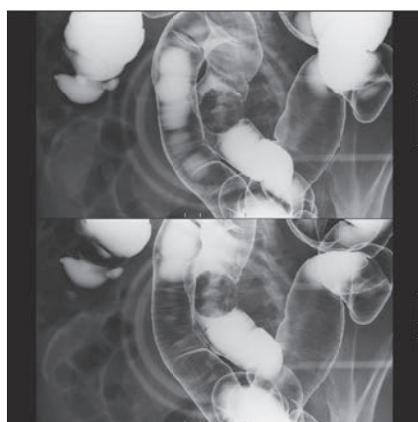


図20

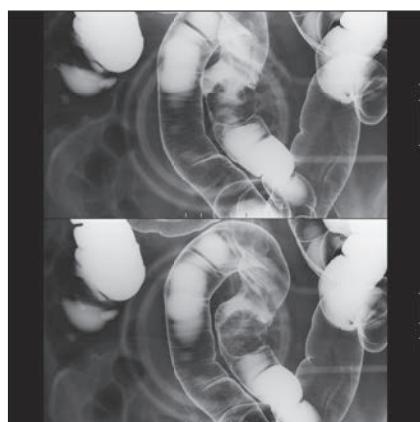


図21

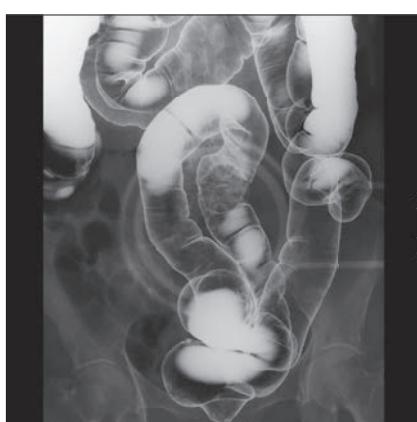


図22



図23

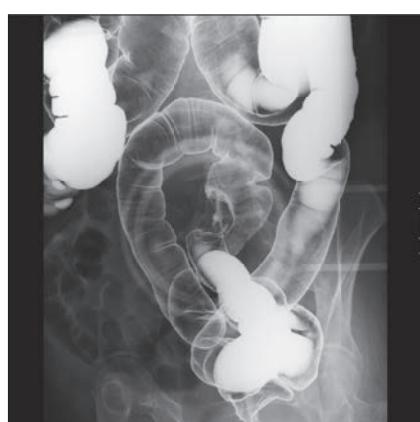


図24



図25

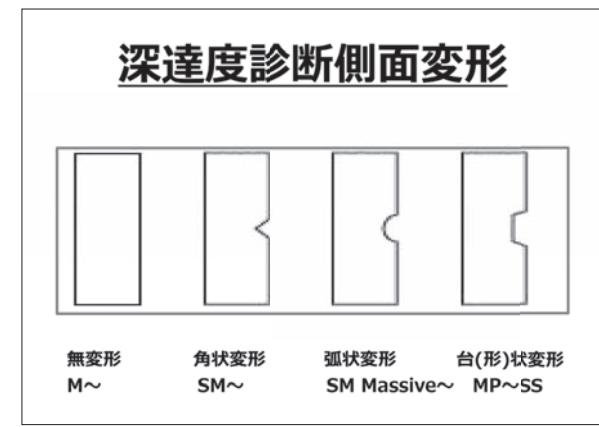


図27

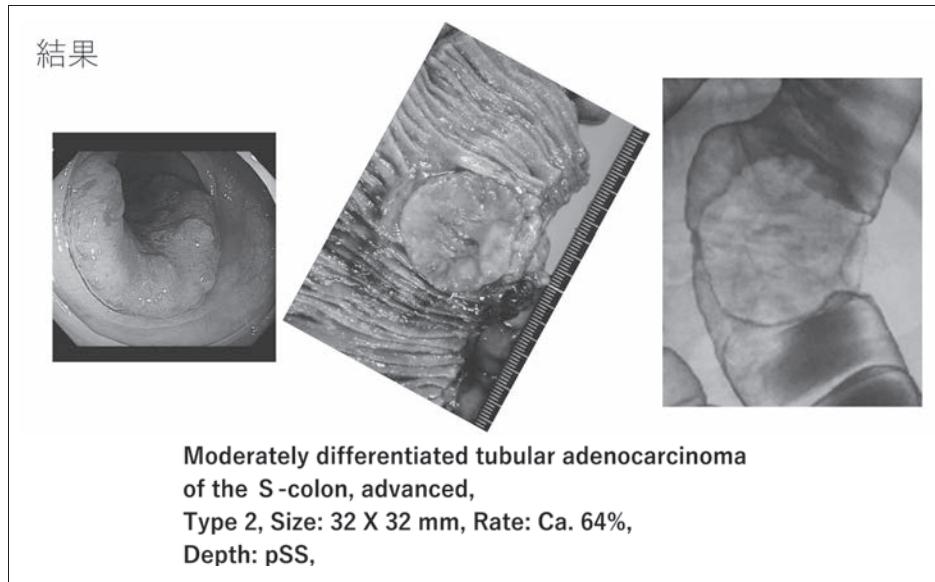


図26

2 | 狹小化・狭窄を伴うS状結腸癌

図28～図42に直腸から盲腸まで大腸全領域の背側・腹側の二重造影で撮影された画像を提示します。1症例目と同様で画像評価達成基準を意識し、全領域を背側・腹側の二重造影でしっかりと撮影されております。基本的には、スクリーニング検査でも術前検査でもこの考え方は同じで、重要なのは画像評価基準を達成することができる撮影技術を習得することです。すなわち大腸全領域を背側・腹側でしっかりとした二重造影で撮影する技術です。具体的な技術的要素としては、緩徐的にゆっくりと体位変換を併用しながら空気の分散注入により腸管をしっかりと十分に拡張させます。また、多くのバリウムを右側深部結腸にしっかりと

移動させバリウム付着を担保し、撮影時には二重造影の障害となる余剰なバリウムを再度移動させ、なるべく広範囲な二重造影を得るようにします。留意点として特に、盲腸・横行結腸の腹側の二重造影、腹臥位での撮影時に障害となる残像バリウムがないように意識することが重要で、圧迫枕をうまく活用することが求められます。

本症例は、前処置も良好で障害となる残渣は全くみられずバリウム付着も非常に良好です。蠕動もみられず、腸管も良好に拡張・伸展しており、理想的な注腸X線検査といえます。所見は、S状結腸に全周性の病変を認め、その他は下行結腸に小ポリープが散見されます。図40～図42はS状結腸病変の追加撮影画像です。この画像は腹臥位で病変部近傍の下腹部に圧迫用枕を挿入して撮影された画像です。圧迫効果を利用してバリウムを



図28



図29

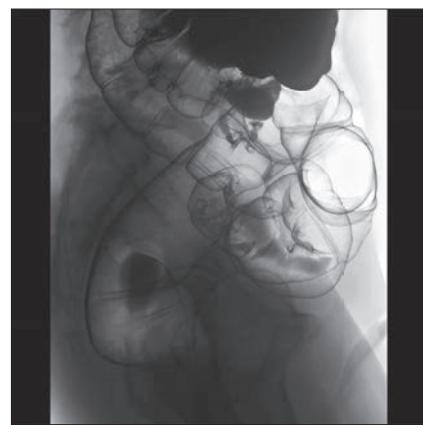


図30



図31

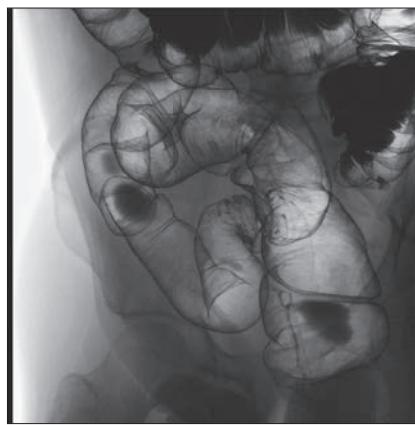


図32



図33

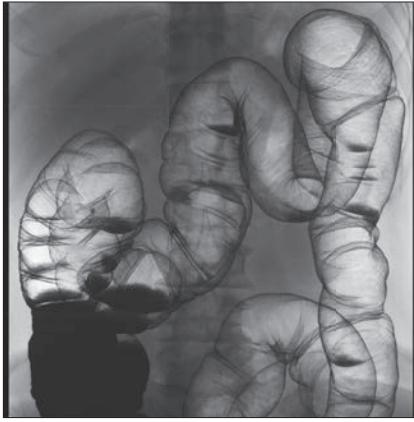


図34

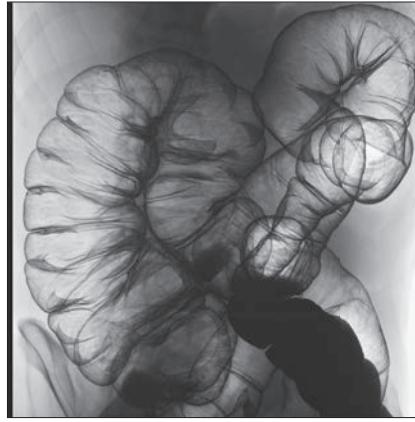


図35



図36



図37

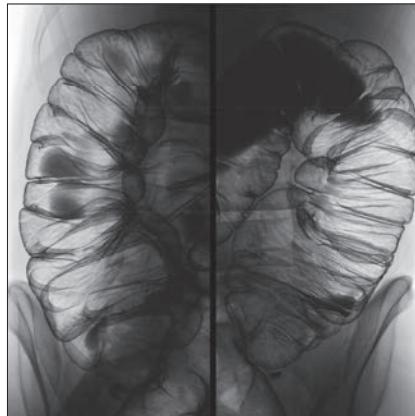


図38

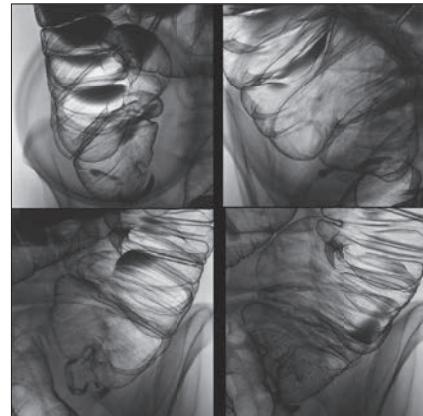


図39



図40

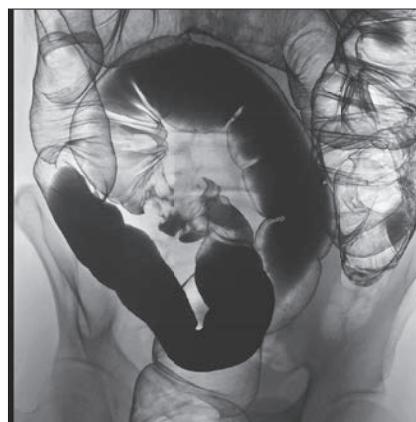


図41

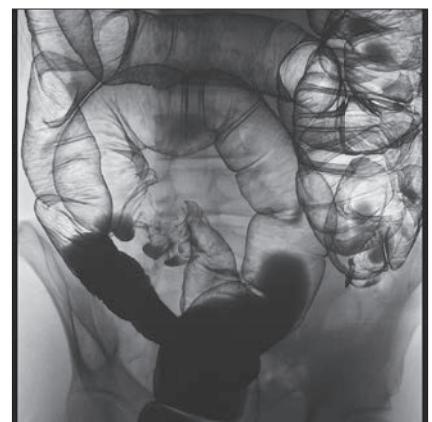


図42

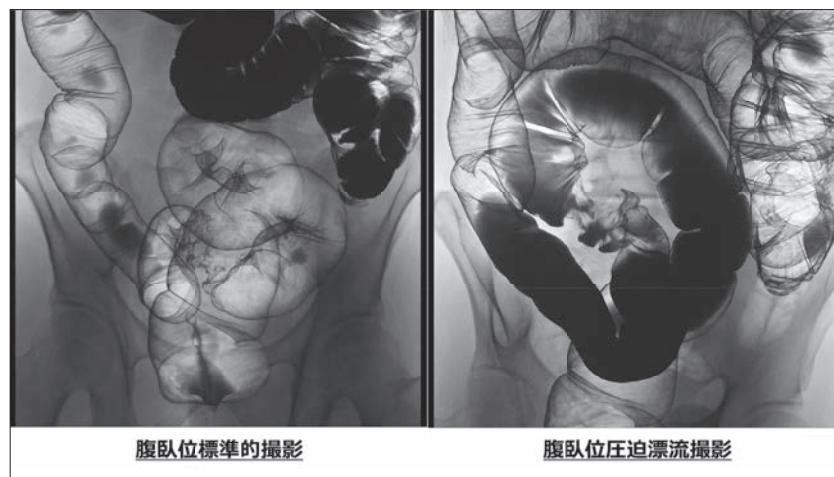


図43

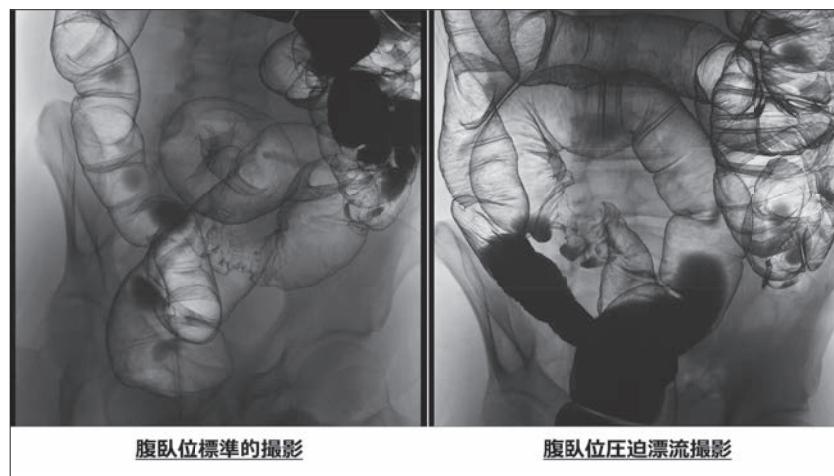


図44

病変部に漂流させ病変の性状をより詳細に表現しております。図43・図44にてその具体的な効果について説明させていただきます。図43・図44の左側の画像は、それぞれ圧迫（枕）のない標準的ルーチン的な正面位と少し右腰が上がった第二斜位の撮影になります。右側の画像は、同様におよそそれに対応した体位、圧迫枕を使用しての

圧迫を付加した撮影で、対比画像となります。まずはS状結腸の走行に注目して下さい。圧迫の効果によりS状結腸の走行に大きな変化がみられます。具体的にはS状結腸の細かな屈曲が圧迫効果により消失し、引き延ばされ伸展された状態になっております。これはS状結腸が固定されていない、腸間膜を有し可動性に富むという、解剖学

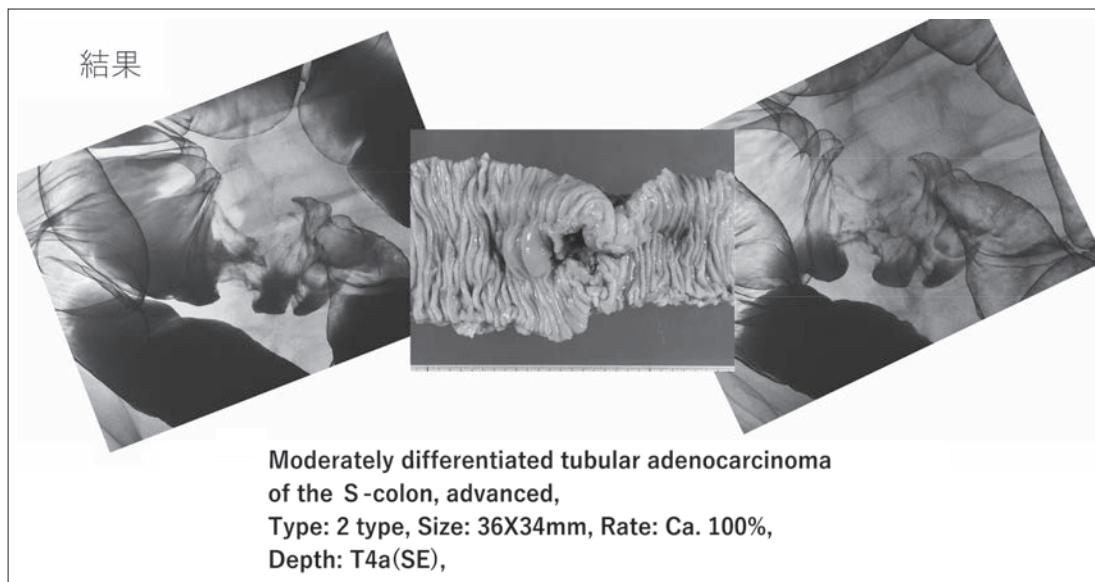


図45

的特徴を理解しての手技によるものです。その結果、腸管走行が非常に理解しやすい単純な走行に矯正され、バリウムを病変周囲に容易に漂流させて撮影することができ、画像より病変の性状を詳細に観察することが可能となります。病変の正確な位置・大きさ、全周性の狭窄を伴い、口側・肛門側とともに結節状の腫瘍性変化を呈し、病変の中心にたまり像（深い潰瘍）を有する2型の進行大腸癌と判断することができます。深達度は、大きさ・全周性・深い潰瘍を加味すると漿膜下層に浸潤した病変と読影することができます。

結果は図45に示す通り、大きさ36×34mm・全周性・深達度SEの2型の進行癌でした。

マクロとの対比でも、病変辺縁の結節状の周堤と中心部の潰瘍を正確に表現できているのが理解できます。またこの症例はS状結腸の狭窄を伴う

全周性病変でしたが、その口側も一連の注腸X線検査で詳細に観察することができ、術前検査として臨床的に有用であると考えられます。

3 | おわりに

今回は、腸管の狭小化・狭窄を伴う大腸進行癌症例の提示・病変描出方法・狭小化・狭窄部の口側評価についてお話しさせていただきました。解剖学的特徴を理解した積極的な圧迫撮影や漂流撮影を駆使して、病変の局在を明確にし、病変形態と性状、深達度診断が可能な精度の高い画像情報を提供する必要があります。次回は、高度な腸管狭窄を伴う大腸進行癌症例と大腸ステント留置についてお話しさせていただきます。

こえ

2022年度 城北支部研修会(ハイブリッド開催)に参加して

東京医科歯科大学病院 北野りえ

2022年11月26日(土)に開催された城北支部研修会『働きやすい職場環境を作るための生命の話～助産師の立場より～』に参加させていただきました。

大学病院や不妊治療専門クリニックでの勤務経験がある、助産師の湊真美先生のご講演です。

2022年4月より一般にいわれる「不妊治療」が保険適用されたとのことです。今の時代は6組に1組の夫婦が不妊症といわれるそうで、今までよりも経済的負担が軽くなり、より出産を前向きに検討できるようになったとのことですが、「不妊治療」とは多い時には週に3回も病院へ行かなくてはならないことがあります。仕事を抱えながら両立していくには、本当に大変な努力が必要です。

そして、妊娠を機に身体には大きな変化が起こり、精神的にも負担がかかります。

体重増加に伴い腹部が大きくなることで足腰の負担や、胸部を圧迫することにより呼吸機能も低下します。つわり、貧血、むくみなど、さまざまな症状があることなど知っているつもりでいましたが、今

後はもっと積極的に「体調は大丈夫?」と優しく声掛けしようと思いました。

また、妊娠中または出産後の女性は健康診査などを受診し、母性健康管理指導事項連絡カード「母健連絡カード」に従い、通勤緩和や勤務時間短縮などの措置を講じながら勤務できるとのことです。「時短」というwordでしか認識していなかったため、この機会に勉強できて良かったです。

10月から施行された「産後パパ育休」も活用していただき、不妊治療・出産・育児を乗り越えていただきたいと感じましたし、サポートしなければならないとも改めて思いました。

今回の研修会を通して、働きやすい環境を作るには職場のサポートが必要だと強く感じました。このような内容の研修会をぜひ毎年開催していただき、若い方から管理者の方まで皆さんに聞いていただきたいと思います。

最後になりますが、このような貴重な研修会を開催していただきありがとうございました。



2022年度 城北支部研修会に参加して

三郷中央総合病院 関谷 薫

2022年度城北支部研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して、会場参加20名限定として、ハイブリッド形式にて開催しました。

第8波到来のため、当初、会場参加を予定していた方の多くがWebでの参加となり、会場参加は、当初予定していた参加人数の半分にて開催しました。

大学病院にて、豊富な勤務経験のある湊先生からは、妊娠となった診療放射線技師の接し方、上司として取るべき対応、妊娠となった診療放射線技師が、自分の赤ちゃんを守るために取るべき対応、妊活・不妊治療を行っているスタッフとの接し方を、講義時間が限られている中、多岐にわたり多くの内容をご教示いただきました。

妊娠中の診療放射線技師が、辛かったモダリティとして一般撮影やMMGなどが挙げられ、長時間立った状態での勤務や、お腹が大きい中でのポジショニングが辛いと感じていることが理解できました。先生からのアドバイスとして、いつでも座って休めるように、椅子を用意する。大きくなつたお腹をさすっているのは、妊娠本人も意識していない自然と行っているお腹のハリを感じているサインであり、そのようなときに休憩をするように伝えることが、重要であることが理解できました。

上司として取るべき対応として、妊娠した診療放射線技師が職場で話しやすい環境づくりが大事で、

妊娠中の通勤時間帯の変更、休憩時間の変更、勤務時間の短縮などを考慮することが法で決められていることが理解できました。妊婦検診後に面談の時間をとることが重要であることも理解できました。

注意が必要な妊婦には、母性健康管理指導事項連絡カードが発行されることも、今回の研修会にて初めて知ることができました。

妊娠となった診療放射線技師は、自分のお腹の中の赤ちゃんを守るのは自分だけなので、自らの体調管理などの調整、働く職場の人事制度を熟知すること、日ごろから切磋琢磨し、感謝の気持ちを大切にすることなど、妊娠中は自分の体調の変化で精一杯となってしまうのに、助産師ならではの視点でご教示いただきました。

18人に1人が、自然妊娠ではなく体外受精などで産まれてきており、私たち診療放射線技師のスタッフでも妊活を行うことがあることを知り、妊活・不妊治療を行っているスタッフとの関わり方、子を持たない選択をしたスタッフとの接し方も学ぶことができました。概論だけでなく、事例を基にどのようなことがマタニティハラスメントになるか、詳細にご教示いただき、今回の研修会は普段、勉強することのできない女性の妊娠に対して、専門である助産師が診療放射線技師の立場でお話ししていただけた、たいへん貴重な講演でした。

城北支部研修会に参加して

博慈会記念総合病院 伊佐理嘉

2022年11月26日土曜日に東京都診療放射線技師会研修センターにて城北支部研修会が開催されました。『働きやすい職場環境を作るための生命の話』とのテーマで助産師の湊真美先生のご講演を拝聴致しました。最初に共働きの世帯数の変化をグラフで示していただき、共働きの世帯が多くなってきて、われわれの社会環境、職場環境は変化していることを数字として教えていただきました。また妊娠した女性の何が大変か、どんな体の変化に対応しているのかを分かりやすく教えていただき、体の変化だけでなく心の変化に関しても教えていただきました。私が思っている以上にたくさんの苦労があり、また個人差があることを自覚しなければならないと感じました。そして妊娠された方を助けるさまざまな国の制度、システムを詳しく教えていただきました。特に通勤時間変え、オフピーク通勤ができるなど、知らないことが多くありました。後半ではマタニティハラスマントの事例を具体的に示していただき、性別よりも職場の環境に左右されてしまう現在の働き方をもう一度考える機会となりました。今回のご講演はニュースでも取り上げられ見聞きする内容でし

た。私も理解していると思って妊娠している後輩にも気遣いも良くしていたと思っていましたが、この講演を拝聴して自分自身の対応が正しかったのかと自問自答する良い機会となりました。診療放射線技師の職場にも私が働き出した20ウン年前に比べれば、多くの女性技師が仲間として一緒に働くようになりました。これからは男性のみや女性のみという職場は非常に少なくなってくると思います。男性だから女性だからではなく、一緒に働く仲間同士が気遣い気遣われる職場環境を作っていくことが大事であると感じました。私の職場も常に人員が少ない職場ではありますが、今回のご講演を糧に職場環境を見直し、改善できるきっかけにしたいと思いました。

今回、私は城北支部の一員としてこの研修会に会場参加し直接質問できたことなど、非常に有益な時間を過ごすことができました。

最後になりますが、湊先生、非常に勉強になるご講演をありがとうございました。

また会場参加の良さを改めて感じた研修会でした。



会員動向

2022年4月～12月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2021年度末集計	2,321	183	26	26	101
2022年 4月	2,354	32	8	4	3
2022年 5月	2,398	43	3	1	1
2022年 6月	2,431	39	1	4	3
2022年 7月	2,442	14	2	2	3
2022年 8月	2,463	21	1	1	0
2022年 9月	2,472	13	3	2	5
2022年10月	2,481	13	2	3	3
2022年11月	2,488	10	3	3	3
2022年12月	2,495	11	1	1	4

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2022年度

☆1. 支部研修会

多摩支部研修会	Web開催	2023年3月10日(金)
城南支部研修会	Web開催	2023年3月10日(金)

2. 地区研修会

第3地区研修会	ハイブリッド開催	2023年2月3日(金)
第4地区研修会	ハイブリッド開催	2023年2月8日(水)
第16地区研修会	ハイブリッド開催	2023年2月10日(金)
第12地区研修会	Web開催	2023年2月17日(金)
第5地区研修会	Web開催	2023年2月22日(水)
第9地区研修会	Web開催	2023年2月28日(火)
第11地区研修会	Web開催	2023年3月8日(水)
第6地区研修会	ハイブリッド開催	2023年3月9日(木)

3. 専門部委員会研修会

第17回ペイシェントケア学術大会	ハイブリッド開催	2023年2月4日(土)
第1回災害対策研修会	Web開催	2023年3月4日(土)
第2回災害対策研修会		2023年3月18日(土)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

News

2月号

会長挨拶

本日は多忙の中、理事会参集に感謝する。本会事業としても皆さまのご協力により予定通りに実施されている。各地区各委員会において次年度事業計画を検討していると思うが次年度も皆さまの協力をお願いしたい。本日も皆さまと活発な意見交換をしながら理事会を進めていきたいのでよろしくお願ひしたい。

理事会定数確認

出席：17名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田 会長

・五役会議の報告からで会長変更についての案内状発送を行っている。また臨時総会のハイブリッド開催における物品購入提案についての審議を行った。詳細は後の報告で行う。12月1日に事務局員の引地さんへ冬季賞与としての手当を渡している。

2) 副会長

関 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口 副会長

・活動報告書に追加なし。

日 時：2022年12月8日（木）

午後7時00分～8時00分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、鈴木雄一、宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、市川篤志、小林隆幸、渡辺靖志、長谷川雅一、原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、増田祥代、布川嘉信

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第4地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、大津元春（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、吉村良（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、小野賢太（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

・12月4日にJARTの教育会議で次年度の事業として告示研修を本年度と同じスタンスで動くと報告した。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議 事

1) 事業申請について

①2022年度第4地区研修会

テーマ：一般撮影装置の精度管理を学ぼう－X線管から撮影シーケンスまで－

日 時：2023年2月8日（水）19:00～20:15

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター
(ハイブリッド開催)

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

②2022年度第5地区研修会(Web)

テーマ：放射線治療 最前線(概論)－放射線科治療医が“ガンガン”教えます－
日 時：2023年2月22日(水) 19:00～20:00
場 所：Zoom (Web) 東京大学医学部附属病院より配信
【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

③2022年度第11地区研修会

テーマ：「血管撮影by多軸型ロボットアーム」(仮)
日 時：2023年3月8日(水) 19:00～20:00
場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター (Web配信)

・次回理事会でテーマ、詳細を確定する。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

④2022年度第6地区研修会

テーマ：肝エラストグラフィーについて
日 時：2023年3月9日(木) 19:00～20:00
場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター (ハイブリッド開催)

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

⑤2022年度第2回災害対策研修会

テーマ：「緊急被ばく医療研修会－3.11を風化させないために－」
日 時：2023年3月18日(土) 13:00～16:30
場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター
【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

2) 会費に関する規程の改正について

野口幸作 定款諸規程委員長：

理事会で議論してきたことを委員会で議論してきた。2023、2024年度に時限的に会費を減額する部分について、元に戻す際に状況で判断する議論もあったので時限規程として取り入れている。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

3) 議案の鏡文について

関 真一 副会長：

総会において、改正案の前に以下の鏡文を載せる予定である。

議題1：会費額の減額について

2022年度第9回理事会において、本会の組織率の向上を目標(組織率50% 会員数3,000名)に、2年間の会費額の減額の決議を行った。コロナ禍の状況もあり、対面式の会議や研修会、講習会をWeb方式へと移行し、交通費等の支出低減等々により貯えると想定している。また更に、魅力ある技師会、役に立つ研修会等々へと変革していく、会員増へと役員一丸となって目標達成を目指す方向性である。新入会に関しては、会費という入会に対する障壁をなくし、入りやすい経済状況を確保するものとした。60才以上の会員に関して

は、やはり定年を機に一定数の方が退会する傾向を改善し、少しでも永く会員を維持していただき、後輩の指導をいただきたいとの思いが理由である。そこで今回は、会費に関する規程の改正及び会費減額に関する時限規程の承認をもって、会費額の減額として総会の承認をいただきたいと考えている。皆さまのご理解ご協力を願いしたい。上記の文言を現在の規程の前につけて、総会の議事とさせていただきたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

4) 臨時総会開催通知について

鈴木雄一 総務委員長：

先ほど承認された規程の原案を代議員に承認いただければ、4月から施行という形となる。この議案に関する臨時総会開催を行いたい。

COVID-19の状況もあり、前回の定期総会と同じく書面表決の予定である。

加えて、麻生前会長から江田新会長への流れに関しても報告する予定である。

日 時：2023年2月23日(木・祝日)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会事務所
方 法：書面表決による投票

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

鈴木雄一 総務委員長：

開催通知についてご承認いただいたので、これをもって総会運営委員会で富丸委員長を中心に実際の運用の会議等々を始めていただく。地区の代議員の皆さんに臨時総会の開催日、会費に関する臨時総会が開催されるという第一報をお願いしたい。

5) 新入退会について

11月：新入会10名、転入3名、転出3名、退会3名

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第8地区：

・先日行われた理事会で江田理事が新会長となりました経緯についての確認。

定款第26条の2に記載されている“会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。この場合において、理事会は総会の決議により会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。”とあるが、臨時総会等が開催されずに理事会での新会長選出が定款に反しているのではないか。また、会長が欠けた場合、第27条の7に記載されている“理事会は、会長に事故があるとき又は会長

が欠けたときは、理事会があらかじめ決定した順序によって、代表権を除く業務を代行する。”とあり、臨時総会を開催し新会長が選定されるまでは野口副会長が代行し理事会を運営することが可能ではないか、拙速に新会長を先日の理事会で選出することは定款に反しているか否か都の管理法人課にご確認いただきたいと思います。

野口幸作 副会長：

11月の理事会に提出した資料は、東京都に確認をとった内容である。われわれも総会のこと、ルールに反していないかということや、法律的な部分等の検討をした。資料の通りであるが、当法人の定款第26条(役員の選任)では、その第2項で、「会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。この場合において、理事会は総会の決議により会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。」と定めている。これまで通常時の会長の選定は、この定めに則り、代議員総会で選出された会長候補者を理事会で選定決議する方法で行ってきたが、この後段の定めは、「できる」規程であり、今回のケースでは、麻生氏解職後、残りの理事の中から理事会決議で会長を選定すれば良い(代議員総会による候補者選出を経ない)と考えている。その考え方間違いないか? ということを東京都に確認をした。

その回答として、「会長(理事長)候補者の選定は法定上の義務ではないため、貴法人定款や定款施行規則、理事会・代議員総会運営規則等に違反しない限りは、総会における会長候補者の選出を行わず理事会で会長を選定するという手続きで間違いないと思います。諸規則は念のためご確認ください」とのことだった。

諸規則にはそのような部分はなかった。理事会で会長を選定することに関して、ルール的には問題ないということで、11月の理事会で会長を選定した。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

来年度の東京都診療放射線技師会定期総会での小野賞、特別功労賞および功労賞の推薦を各委員会からお願いしたい。次回の理事会で推薦用の資料を配布する。前もって推薦していただけるよう、ご協力をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

江田会長から申し送りがあったが、ハイブリッドセミナー開催のための備品を購入させていただきたいと考えている。現在事務所にある機材は借り物であるため、使用しないようお願いしたい。

野口幸作 副会長：

補足説明すると、申請された機材の金額は変動する可能性がある。また、購入する機材も変更となる場合がある。今後のハイブリッドセミナー開催に向けて充実した体制を整えたい。

江田哲男 会長(厚生調査委員長)：

厚生調査委員会からお願いで、各会員に発送された本年度のアンケート調査へのご協力をぜひお願いしたい。

関 真一 副会長(経理委員長)：

経理委員会より、2年間の会費未納者リストを配信した。未納者の会員にはお声掛けをお願いしたい。1ヵ月後を目処に再度配信する予定である。

鈴木雄一 総務委員長：

東京都診療放射線技師会はソウル特別市放射線士会(SRTA)と学術協定を結んでおり、インターナショナルセッションで例年発表を行っている。本年度も来年の3月25日から27日にソウル市で現地開催予定である。例年実行委員会からは12月末に演題募集の通知を頂いているため、まだ正式に通知は来ていない。通知が来てから演題募集を行い、学術、教育委員会で演題を精査した上で発表を行う流れとなっている。しかし通知が来てからでは日程的に厳しいため、予め演題募集の周知をお願いしたい。Webによる発表形式の可能性もある。演題は7分間の英語による発表で、最低1演題提出する。おそらく年末には正式な通知が届くと思われる。抄録は例年A4用紙1枚の形式で提出している。ご興味ある方はぜひ演題提出をお願いしたい。なお、旅費および宿泊費は賄われる。

江田哲男 会長：

第8回理事会で会長を拝命させていただいた。東京都の役員在籍期間は長いが、各地区について把握していない部分もある。今後、各地区委員会に親睦も含めて参加させていただきたいと考えている。皆さまのご協力をお願いしたい。

今後の予定について(総務委員会)

鈴木雄一 総務委員長：

次回の専門部委員会は12月22日に行われる。事務所納めは12月28日である。年明けの1月4日に事務所開き、1月5日に次回の理事会が行われる。議事で承認されたため、2月23日に臨時総会を開催し、2月24日に専門部委員会が行われる。また、次年度の事業計画案について、可能であれば早めに提出していただきたい。遅くとも1月の専門部委員会までにご提出をお願いしたい。

以上

Canon



Introducing our new approach to AI in healthcare

AIテクノロジーを活用した、新しい医療価値の創出——。
その世界の起点を
私たちは変わることなく、尊い「いのち」への
貢献であると考えています。

一人ひとりの患者さんのペーシェント・ジャーニー。
さまざまナシーンで、よりパーソナライズされた
高精度な診断を支えるのは、高精度データです。

高精細検出器をはじめとする独自技術を、
機械学習・深層学習の技術と融合させる。
私たちのアプローチから生まれた
ソリューションはすでに、
診断の「質」の向上、CTにおける被ばく量の低減など、
新たな医療の世界をかたちづくっています。

<Altivity>は、キヤノンメディカルシステムズの
AIソリューション・ブランドです。

Z000023-08

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



わが家の楽しみ ~駅伝競走・EKIDEN~

秋から年始にかけてわが家の楽しみがある。それは、『駅伝競走』。国際名称は、『Road relay』というらしい。近年までは日本でしか行われていなかったことには驚きだ。箱根駅伝に至っては、今年は第99回大会であり、当然のことながら私が生まれる前から行われている。

駅伝の楽しみ方は、10月の出雲全日本大学選抜駅伝競走から始まり、全日本大学駅伝対校選手権大会、全国高等学校駅伝競走大会、そして正月の全日本実業団対抗駅伝競走大会、東京箱根間往復大学駅伝競走、全国都道府県対抗駅伝競走大会と続く。これらを制覇することで中学生から実業団へ、そしてオリンピック出場選手までの成長の過程を見届けることができる。

監督やコーチ、家族でもないのに選手の成長を喜び、応援し続けているわが家の面々。わが子が走っていたら、きっと心配で見ることができないだろう…。毎年さまざまなエピソードがあり感動に涙し、そして選手からエネルギーとモチベーションをもらった。

来年の箱根駅伝は100回の記念大会で全国の大学にチャンスがある。私もモチベーション高く、チャンス、そしてタイミングを逃さず今年も頑張ってみよう…。

しかっち

光製薬の造影剤

処方箋医薬品
非イオン性造影剤 薬価基準収載

イオヘキソール注シリンジ

イオヘキソール300注シリンジ50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL(HK)

イオヘキソール350注シリンジ70mL/100mL(HK)

(日本薬局方 イオヘキソール注射液)



処方箋医薬品
非イオン性尿路・血管造影剤 薬価基準収載

イオバミドール300注シリンジ50mL/80mL/100mL(HK)

イオバミドール370注シリンジ50mL/65mL/80mL/100mL(HK)

(日本薬局方 イオバミドール注射液)

処方箋医薬品
環状型非イオン性MRI用造影剤 薬価基準収載

ガドリドール静注シリンジ

ガドリドール静注シリンジ13mL(HK)

ガドリドール静注シリンジ17mL(HK)

(ガドリドール注射液)



イオバミドール注シリンジ

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果・用法・用量・警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

<https://www.hikari-pharm.co.jp>



光製薬株式会社

(文献請求先及び問い合わせ先) 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2-11-15

TEL 03(3874)9351 FAX 03(3871)2419

2021年1月作成

放射性医薬品／悪性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬 処方箋医薬品^{注)} 保険適用 フルデオキシグルコース(¹⁸F)静注「FRI」

Fludeoxyglucose(¹⁸F) Injection FRI

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース(¹⁸F)注射液 ^{注)} 注意—医師等の処方箋により使用すること。



製造販売元

PDRファーマ株式会社

文献請求先及び問い合わせ先

TEL 03-3538-3624

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

※「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、
「使用上の注意」等については電子添文をご参照ください。

2022年3月作成

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性 · 女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

 氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

 送付先変更

現在の送付先	勤務先 · 自宅
新送付先	勤務先 · 自宅

 住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 -
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 -
	電話	
旧自宅住所		

 その他

通信欄	
-----	--

受付
確認

令和 年 月 日
令和 年 月 日 印

Postscript

令和4年6月から、犬、猫に対するマイクロチップの装着についての新たな制度が始まっていたことを皆さんはご存知でしょうか。私はペットを飼っていなかったので知りませんでしたが、昨年末に子供達がペットを飼いたいと言い出したのをきっかけに知りました。

ペットショップやブリーダーなどの犬や猫を販売する事業者にマイクロチップの装着、購入者は30日以内に飼い主情報を登録することが義務化され、以前より犬、猫を飼っている飼い主には所有する犬、猫にマイクロチップを装着するよう努めること(努力義務)が規定された法律です。

家族のような存在のペットの体に異物を入れるの!? っと、びっくりしましたが、マイクロチップ(直径2mm、長さ8~12mmの円筒形でアンテナ、IC部が内蔵されたもの)は専用の注射器で獣医師が装着し、個体差にもよりますが犬では生後2週齢、猫は4週齢から入れることができ、表面には副作用がない材質が使われているので正しく施術すれば動物の体に負担をかけること

なく装着可能だそうで、安心しました。

また、マイクロチップ装着義務は阪神淡路大震災のときに、たくさんの迷子の犬猫が発生してしまったことがきっかけで導入が検討されたそうです。その後に起きた東日本大震災でも多くの行方不明の犬猫が発生しましたが、鑑札をつけていた犬(身元がはっきりしていた犬)は100%飼い主の元に戻ることができたとの報告もあったようで、ペットにとってもメリットは大きいようです。

マイクロチップに記録された15桁の固有の番号を専用リーダーで読み取ることで、指定登録機関に登録された所有者情報(氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど)、動物情報(名前、品種、毛色、生年月日、性別、狂犬病予防法登録番号(犬)など)と照合ができ、飼い主の特定ができるそうです。

技術の進歩に驚くとともに、いつ、どこでどんな事が起こるか分からない世の中、リスク回避のための備えの必要性を考え直す良い機会になりました。

B.F.S

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)
トーテック アメニティ(株)
PDRファーマ(株)

東京放射線 第70巻 第2号

令和5年1月25日 印刷(毎月1回1日発行)

令和5年2月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜~金曜 9時30分~17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日~1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一